

「まなび」の視点から

山西 優二

「人間として生きるということは、他者そして世界との関わりを引き受けるということである」とはブラジルの教育者パウロ・フレイレの言葉ですが、この「関わりを引き受けるためのまなび」(「関係性の再構築のためのまなび」)、また「コミュニティ・地域づくりに向けてのまなび」を、私は3つのキーワードから考えたいと思っています。

それらは、「スローで、やさしく、力強い」です。

- * 「スロー」： ゆったりとした遊び(すき間)のある時間・空間
- * 「やさしく」： 人間存在、あらゆる存在、あらゆる生命への慈しみ
- * 「力強く」： 問題を克服し、スローでやさしい文化を協働してつくり出す力強さ

これら3つのキーワードは、「まなび」のあり様を示すと共に、そこにみる「関わり」のあり様、さらには「まなび」と「関わり」が作り出す「文化」のあり様を示していると考えています。

シンポジウムでは、これらのキーワードをもとに、私の出会ってきたいくつかの具体的な「まなび」についてもお話しできたらと思っています。